

工作機械工業 収益状況集計

(2017年度 第2四半期)

会員企業のうち2017年11月末迄に2017年度第2四半期決算を公表している専業比率30%以上の上場企業18社を集計。集計調査対象企業における専業比率は83.4%。

1. 連結決算の概要

表1 連結決算の概要(18社)

(単位：百万円・%)

	17年度 I 期	17年度 II 期	17年度 I ~ II 期	前年同期比	16年度 I ~ II 期
売上高	165,202	205,651	370,853	+17.6	315,287
売上総利益	47,852	59,549	107,401	+19.5	89,862
売上総利益率	29.0	29.0	29.0		28.5
営業利益	7,950	17,838	25,788	+58.5	16,267
営業利益率	4.8	8.7	7.0		5.2
経常利益	8,973	18,112	27,085	+106.2	13,136
経常利益率	5.4	8.8	7.3		4.2
当期利益	6,089	12,309	18,398	+132.5	7,912
当期利益率	3.7	6.0	5.0		2.5
総資産	1,003,269	1,050,205	1,050,205	+11.3	943,686
純資産	552,680	577,694	577,694	+13.8	507,535
自己資本比率	55.1	55.0	55.0		53.8
自己資本 当期純利益率 (ROE)	4.4	8.5	6.4		3.1

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧 (連結・I ~ II 期計・前年同期比) (18社)

(単位:社)

	増 加	減 少	合 計
売上高	16	2	18
売上総利益	17	1	18
営業利益	16 (1)	2 (0)	18 (1)
経常利益	16 (1)	2 (0)	18 (1)
当期利益	16 (1)	2 (0)	18 (1)

※()内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

2. 2017年度通期見通しの概要

表3 【第2四半期時点】連結業績予想の概要（18社）

（単位：百万円・％）

	2017年度通期見通し			2016年度実績
	第1四半期時点	第2四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	730,388	772,449	+11.2	694,595
営業利益	54,211	62,788	+43.1	43,882
営業利益率	7.4	8.1		6.3
経常利益	53,632	63,189	+46.3	43,187
経常利益率	7.3	8.2		6.2
当期利益	37,274	43,271	+46.0	29,633
当期利益率	5.1	5.6		4.3

表4 【第2四半期時点】連結業績予想の増減（売上高、経常利益）（18社）

通期 (対前年度比)	増収増益	15社 (1社減)	増収減益	2社 (2社増)
	減収増益	1社 (1社増)	減収減益	0社 (2社減)

※（ ）内は、第1四半期時点からの増減社数

◎第1四半期時点からの修正理由

【売上高、経常利益とも上方修正 …11社】

- 平成29年度3月期に実施した早期退職優遇制度による固定費の削減や、その他原価低減諸施策の効果が想定より大きく寄与したため、利益を上方修正。売上高は半導体関連向けの受注が好調であるため、上方修正。
- 需要動向は、半導体、液晶、ロボット、自動車、家電、工作機械等幅広い分野で高水準の状況が続いており、個別業績に関して大幅な増収が見込まれる。下期には試験研究費や人件費等の諸経費の増加を予定しているが、それらを勘案しても通期個別業績が当初予想に比較して大きく増益となる見込み。連結業績に関しては、新規大口商談を受注したことに伴い現在マレーシア子会社においてレーザーFASTEC®のモーターコア量産ラインを立ち上げており、その関連先行費用を下期に見込むとともに、欧州子会社の業績が低迷していることを加味し、業績見込みを算定。
- 上期の受注増と今後の受注見通しを踏まえ、売上高、経常利益とも上方修正。
- 第2四半期連結累計期間については、受注高は上期後半にかけて増加し、売上高は、受注増加に伴い、前回予想を上回る結果となった。また利益面においても、コスト削減等による費用の圧縮に努め、各種利益は前回予想を上回る結果となった。通期については、第2四半期の受注・売上状況、業績、及び今後の見通しと、受注、費用見込により業績予想の見直しを行った結果、売上高、各種利益は前回予想を上回る見通しとした。
- 第2四半期累計期間の業績について、円安の影響等により輸出が増加し、売上高が当初予想を上回る見込み。また、売上高の増加に伴い、各利益も増加するため、予想を上方修正。通期の業績予想についても、売上高及び各利益を上方修正。
- 第2四半期累計期間の業績が当初予想よりも上回ったこと及び足元の受注動向が堅調に推移していること等を踏まえ、上方修正。

○第2四半期連結累計期間の業績は、工作機械の受注が中国や欧州などで自動車向けを中心に好調に推移していることから売上が増加し、利益についても、売上の増加に加え為替も円安傾向に推移していることから、当初予想を上回る見込み。また、通期の連結業績については、特機事業の米国市場向けや精密部品事業でのHDD部品などの売上が当初ほどの伸びを見込めないものの、工作機械事業の受注が好調に推移することからそれらの減少を補い、売上、利益ともに当初予想を上回る見込み。

○国内の産業機械関連企業や自動車関連企業を中心に受注が好調に推移しており、こうした状況を背景に、収益見通しが当初の予想を上回る見込みとなったことから、上方修正。

○旺盛な設備投資需要を背景に無い外需ともに好調に推移していることから、売上、利益ともに上方修正。

○上半期は、国内市場、欧州・米国市場ともに緩やかに伸長する一方、中国市場は先行き不透明感が出てくると予想していたが、引き続き堅調に推移した結果、売上、利益とも当初予想を上回り、上方修正。下半期は、現況下、国内・海外市場とも上半期と同水準で推移しているが、先行きはやや不透明感もある。

○第2四半期累計期間は、売上高が前回予想値とほぼ同じとなる見込みだが、利益面では、各種経費の見直しやコスト削減の効果等により、各種利益について前回予想を上回る見込み。通期予想についても、第2四半期累計期間の上方修正に伴い、売上、各種利益を上方修正。

【売上高は横ばい、経常利益は下方修正 …1社】

- ・第2四半期累計期間で、主力の機械装置部門において、欧米とアジア地域の販売が計画を下回ったことにより、売上、利益ともに予想を下回る見込みとなり、第2四半期累計期間の実績等を踏まえ、通期予想を修正。

【売上高は上方修正、経常利益は下方修正 …1社】

- ・下期に国内での完成車メーカーの減産の影響を受け受注が減少見込みとなったが、子会社のフォークリフト用部品等の受注増により、売上高は上方修正。利益面については、国内での完成車メーカーの減産の影響による受注減や工作機械の研究開発費の計上見込み等により各種利益は前回予想を下回る見込み。

【売上高は下方修正、経常利益は上方修正 …1社】

- ・工作機械関連事業部門における売上のずれ込み等により前回発表値を下回るものの、損益については、原価低減等の効果により計画を上回る。

【売上高、経常利益とも下方修正 …2社】

○売上高は、自動車関連メーカー向け工作機械が増加するものの、建材事業の住宅防音工事が減少するため、前回予想を若干下回る見通し。利益面では、依然として厳しい価格競争の中で受注を確保している自動車関連メーカー向け工作機械の採算が予想を下回る見通しとなり、また、建材事業の住宅防音工事が下期に減少し、通期では赤字が拡大する見通しのため下方修正。

○主力の工作機械部門において、第1四半期に納める受注が低かったため操業が上がりなかったことと、北米とアジア地域の販売が計画通りに進まなかったことから、第1四半期累計期間の売上高、利益ともに計画を下回った。第2四半期は、国内外ともに比較的堅調に推移したものの、第1四半期の落ち込みをカバーするには至らなかったことから、当第2四半期累計期間における前回業績予想を修正。また、中国市場は回復傾向にあり、国内受注は依然順調に推移しているため、第3四半期以降に業績を伸ばしていく予定だが、第2四半期までの業績が予想を下回ることとなったため、通期の業績予想についても、売上高、利益ともに修正。

3. 工作機械事業セグメントの概要

表5 工作機械事業セグメントの概要 (18社)

(単位:百万円・%)

	17年度		16年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	312,558	+19.8	260,887
営業利益	25,194	+31.2	19,199
営業利益率	8.1		7.4
専業比率	84.3		82.7

表6 【参考】工作機械事業セグメントの概要 (26社)

(単位:百万円・%)

	17年度		16年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	485,698	+14.8	423,124
営業利益	36,307	+19.3	30,440
営業利益率	7.5		7.2
専業比率	26.3		25.3

※表5の対象企業18社に加え、セグメント情報を公表している
専業比率30%以下の会員企業8社を加えた26社で集計

【調査対象会員企業 (順不同)】

(専業比率30%以上の集計対象企業)

エンシュウ株式会社
 浜井産業株式会社
 豊和工業株式会社
 小池酸素工業株式会社
 黒田精工株式会社
 株式会社牧野フライス製作所
 株式会社岡本工作機械製作所
 OKK株式会社
 オークマ株式会社
 株式会社桜井製作所
 西部電機株式会社
 株式会社ソディック
 スター精密株式会社
 株式会社太陽工機
 高松機械工業株式会社
 株式会社滝澤鉄工所
 株式会社ツガミ
 株式会社和井田製作所

(専業比率30%以下の集計対象企業)

株式会社アマダホールディングス
 富士機械製造株式会社
 株式会社不二越
 株式会社ジェイテクト
 倉敷機械株式会社 (倉敷紡績株式会社)
 株式会社三井ハイテック
 株式会社オーエム製作所 (ダイワボウホールディングス)
 東芝機械株式会社